

トミヨ

Pungitius sinensis (Guichenot)

トゲウオ目トゲウオ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧 I 類

国カテゴリー なし

選定理由

地下水位の低下にともない、現在では限られた場所でのみ生息している。

形態

背部に8~10本のトゲをもち、体側には32~36枚の鱗板が並んでいる。

国内分布

北海道、青森県、秋田県、山形県、新潟県、富山県、石川県、福井県。

県内分布

志賀町、白山市、能美市。

生態

雄が水草などを使って球状の巣を作り、産みつけられた卵を保護する。

生息地の条件

湧水の影響が強く、年間を通じて水温の変化が少ない場所に生息する。巣を作るための素材となる水草や営巣場所が必要。

生存の危機

地下水位の低下。違法採集。(A)

特記事項

生息地の一部では保護活動が行われている。石川県指定希少動植物種(2005年)。

参考文献

平井賢一 1992. 手取川扇状地における淡水魚類の減少傾向. 金沢大学日本海域研究所報告 24 : 49-62.

平井賢一 1994. 手取川扇状地の淡水魚類相. 金沢大学教育学部研究紀要. 自然科学編. 23 : 133-143.



写真提供者: 山本邦彦



県内の分布

シラウオ

Salangichthys microdon Bleeker

サケ目シラウオ科

石川県カテゴリ 絶滅危惧 I 類

国カテゴリ なし

選定理由 県内の潟が淡水化されたことで、生息適地が減少している。

形態 生時の体は無色透明。尻鰭基底の上部には16～18枚の鱗がある。

国内分布 北海道から岡山県、熊本県。

県内分布 加賀市、小松市。

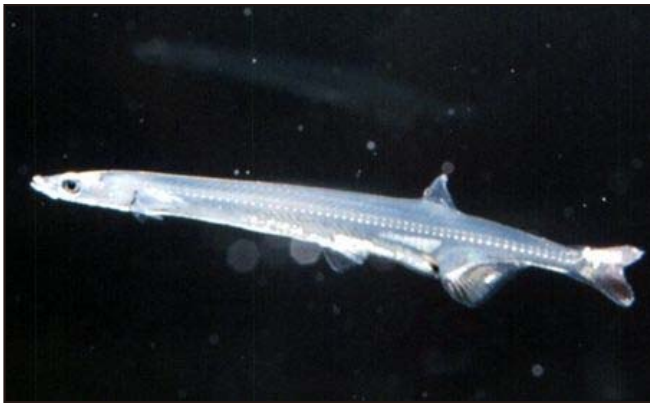
生態 通常は汽水域で生活しているが、淡水域のみで生活するものも見られる。

生息地の条件 安定した汽水域が形成されていること。

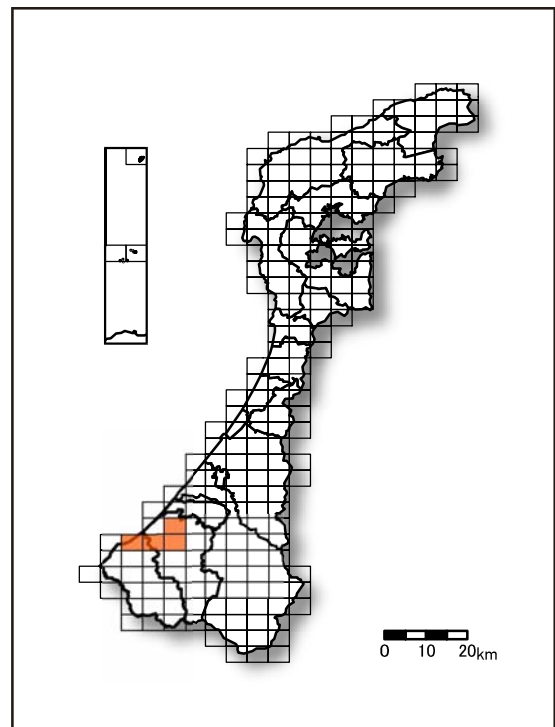
生存の危機 潟の淡水化。(A)

特記事項 木場潟に生息する個体群は淡水型の可能性が高い。

参考文献 石川県淡水魚類研究会編 1996. 石川の自然環境シリーズ, 石川県の淡水魚類. 石川県環境安全部自然保護課. 金沢.
山本・佐野・石原 2003. 石川県の淡水魚類—補遺1. のと海洋ふれあいセンター研究報告. 9:15-23.



写真提供者: 山本邦彦



県内の分布

ホトケドジョウ

Lefua echigonia Jordan et Richardson

コイ目ドジョウ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー 絶滅危惧ⅠB類

選定理由

確認されている生息場所はいずれも狭く不安定な状況下にある。

形態

ドジョウと比較すると体は太くて短く円筒形で、4対8本の口ヒゲがある。体色は茶褐色で、小さな黒点が散在するものもいるが地域変異も見られる。

国内分布

青森県と中国地方西部を除く本州と四国東部。

県内分布

宝達志水町、かほく市、能美市、小松市、加賀市。

生態

流れの穏やかな小川や溜池の中層付近を遊泳している。粘着性のある卵を水草などに産みつける。

生息地の条件

流れが穏やかで、水草類が繁茂する水域。魚食性の強い魚類やザリガニが生息しない水域。

生存の危機

外来魚の放流による食害。水路のコンクリート化。(A, C)

特記事項

それぞれの生息地は孤立していて、外部形態などに地域変異が認められる。石川県指定希少動植物種(2006年)。

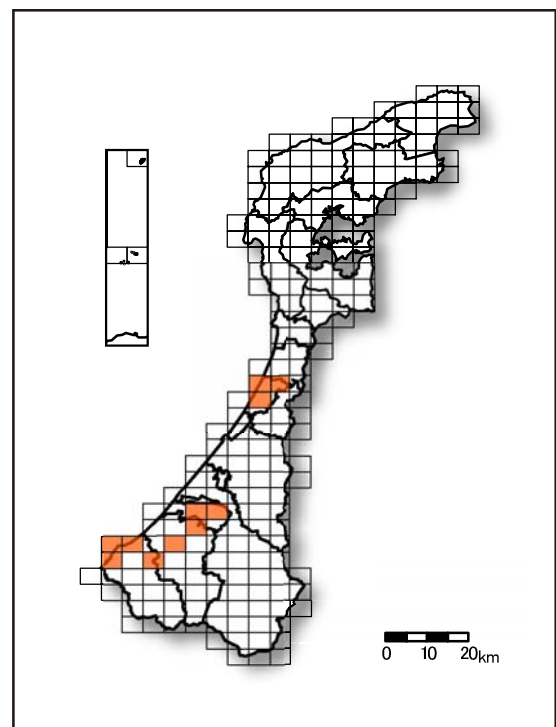
参考文献

石川県淡水魚類研究会編 1996. 石川の自然環境シリーズ. 石川県の淡水魚類. 石川県環境安全部自然保護課. 金沢.

山本・佐野・石原 2003. 石川県の淡水魚類—補遺1. のと海洋ふれあいセンター研究報告. 9:15-23.



写真提供者: 山本邦彦



県内の分布

イトヨ (降海型)

トゲウオ目トゲウオ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

Gasterosteus aculeatus (Linnaeus)

国カテゴリー

地域個体群

選定理由

小水路のコンクリート化などにもなう産卵場所の消失。

形態

背部に3本のトゲをもち、体側には31～34枚の鱗板が並んでいる。

国内分布

北海道、島根県・千葉県以南の本州。

県内分布

七尾市、志賀町、内灘町、小松市、加賀市。

生態

3月頃河川へと遡上して、小水路などで産卵する。水底に水草などを集めてすり鉢状の巣をつくり、雄が卵の世話をする。

生息地の条件

河川へと遡上し産卵場所に移るまでの間、障害物がないこと。産卵場所となる小水路に、巣を作るための素材となる水草や営巣場所が必要。

生存の危機

遡上河川と産卵場所とのアクセスの低下。(A)

特記事項

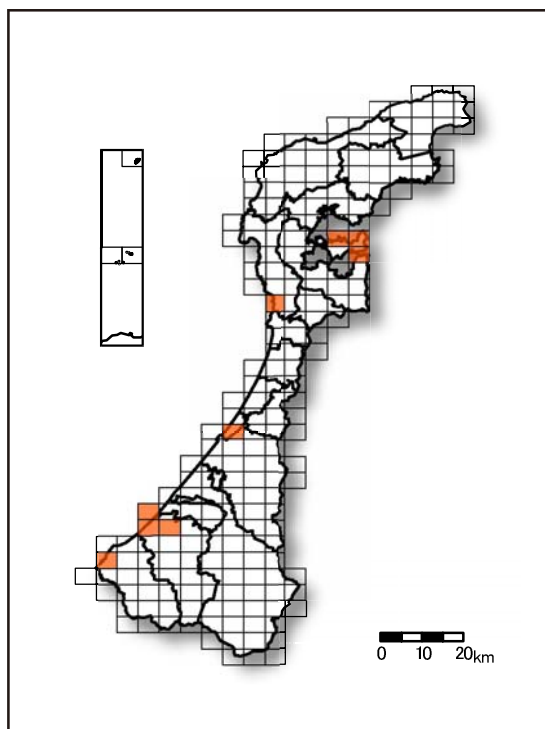
海域における生態が解明されていない。

参考文献

石川県淡水魚類研究会編 1996. 石川の自然環境シリーズ, 石川県の淡水魚類, 石川県環境安全部自然保護課. 金沢.



写真提供者: 山本邦彦



県内の分布

アカザ

Liobagrus reini Hilgendorf

ナマズ目アカザ科

石川県カテゴリ 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリ 絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

県内では2水系のみで確認されていて、生息範囲も限定されている。

形態

8本のヒゲをもつ小型のナマズの仲間。オスの頭部は成熟するとこぶのように盛り上がる。背鰭と胸鰭のトゲは鋭くとがり、刺されると非常に痛む。

国内分布

宮城県・秋田県以南の本州、四国、九州。

県内分布

金沢市。

生態

中流部から上流部にかけて見られる転石地帯に生息している。夜行性のため日中は石の下に隠れている。

生息地の条件

隠れ家となる大型の転石や浮石が必要である。

生存の危機

落差工が移動の障害となっている。土砂の流入が隠れ家となる転石の隙間を埋めてしまっている。
(A)

特記事項

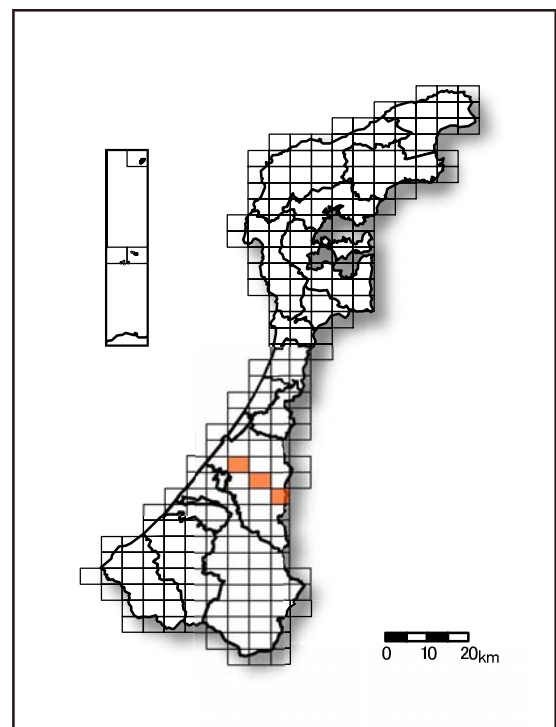
不思議なことに犀川と浅野川以外では、同じような環境を持つ河川であっても生息していない。

参考文献

平井賢一 1982. 石川県の淡水魚類, 2犀川・浅野川, 金沢大学日本海域研究所報告14: 15-26.
石川県淡水魚類研究会編 1996. 石川の自然環境シリーズ, 石川県の淡水魚類, 石川県環境安全部自然保護課, 金沢.



写真提供者: 山本邦彦



県内の分布

ミナミアカヒレタビラ コイ目タナゴ科

Acheliognathus tabira jordani Arai, Fujikawa and Nagata

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー 絶滅危惧 I B類

選定理由

潟やそれに通じる水路で確認されているが、産卵床となる淡水二枚貝の生息場所が減少しているため、今後個体数の減少が懸念される。

形態

幼魚の背鰭に出現する黒斑や、卵の形状、口髭の長さなどから他のタビラと区別できるとされている。

国内分布

富山県、石川県、鳥取県、島根県。

県内分布

輪島市、七尾市、志賀町、羽咋市、小松市、加賀市。

生態

他のタナゴ類と同様に、淡水産二枚貝に産卵する。

生息地の条件

産卵に利用するための淡水二枚貝類が生息していること。

生存の危機

水路がコンクリート化され、産卵に利用する二枚貝類の生息環境が消失している。(A)

特記事項

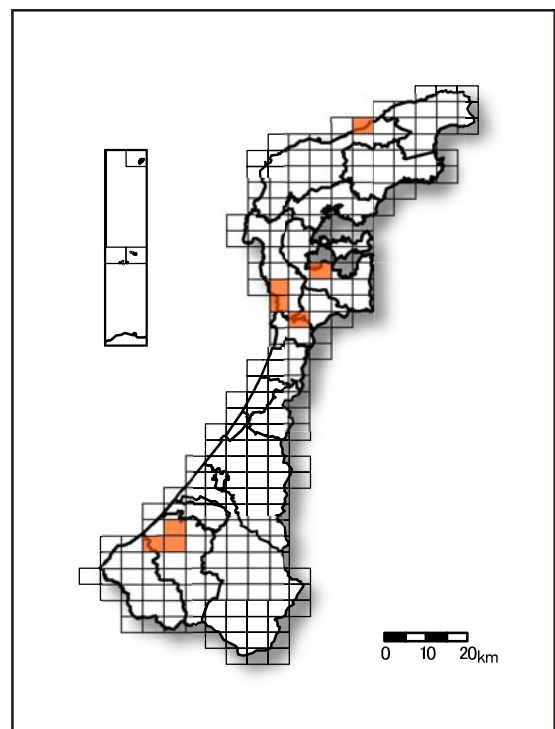
国カテゴリーでは、絶滅危惧 I B類。ただし、アカヒレタビラなどを *Acheliognathus tabira* subsp. として扱っている。新井他 (2007) ではアカヒレタビラを5亜種としていることから、今回はその分類に従った。

参考文献

平井賢一 1975. 能登半島における淡水魚の分布. 金沢大学日本海域研究所報告7:1-18.
Arai,R.,H.Fujikawa,and Y.Nagata 2007. Four New Subspecies of *Acheliognathus* Bitterlings (Cyprinidae:Acheilognathinae) from Japan.Bull.Natl.Mus.Nat.Sci.,Ser.A,Suppl. 1. :1-28.



写真提供者:山本邦彦



県内の分布

アジメドジョウ

Niwaella delicata (Niwa)

コイ目ドジョウ科

石川県カテゴリー

準絶滅危惧

国カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

県内では2水系のみで確認されていて、生息範囲も限定されている。

形態

短い口ヒゲが3対あり、唇は厚く半月型をしていて吸盤状となっている。

国内分布

富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、滋賀県、京都府、三重県、大阪府。

県内分布

加賀市。

生態

溪流にすむドジョウで、岩の表面に付着する藻類を食べる。冬から春にかけて地下水の伏流する場所に潜り込み、産卵する。

生息地の条件

隠れ家となる大型の転石や浮石が必要である。(A)

生存の危機

水の濁りが餌となる藻類の繁殖の妨げとなっている。落差工が移動の障害となっている。土砂の流入が隠れ家となる転石の隙間を埋めてしまっている。

特記事項

体の中央部から背側にかけてある模様には、個体によっても大きな変異が見られる。

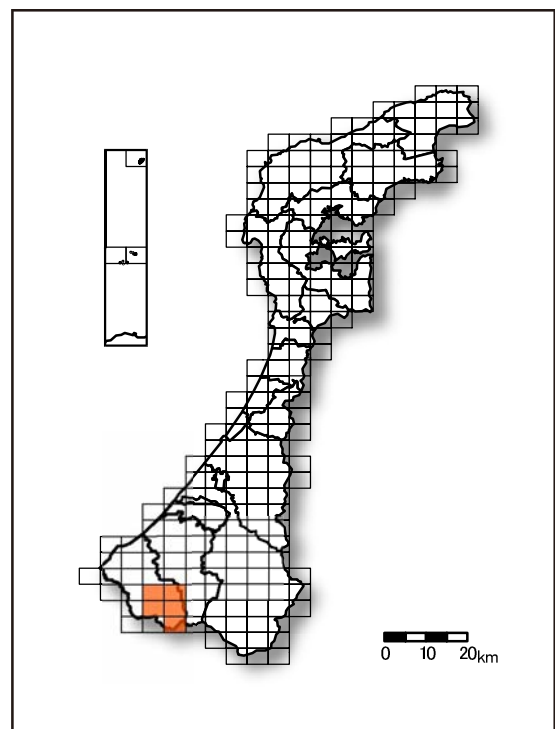
参考文献

平井賢一 1980. 石川県の淡水魚類, 1. 大聖寺川・動橋川・梯川. 金沢大学日本海域研究所報告 12:19-31.

石川県淡水魚類研究会編 1996. 石川の自然環境シリーズ, 石川県の淡水魚類. 石川県環境安全部自然保護課. 金沢.



写真提供者: 山本邦彦



県内の分布

シンジコハゼ

Gymnogobius taranetzi (Pinchuk)

スズキ目ハゼ科

石川県カテゴリ 準絶滅危惧

国カテゴリ 絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

県内の広い範囲から確認されているものの、一部の地域では生息場所は狭く孤立している。

形態

体型などはビリンゴやジュズカケハゼと区別が難しいが、頭部にある感覚管や感覚管開孔の数で区別できる。

国内分布

富山県、石川県、福井県、島根県。

県内分布

能都町、穴水町、七尾市、羽咋市、内灘町、小松市、加賀市。

生態

塩分に対する適応力は比較的低いものと思われる。成魚は主に底生生活をしていて、季節的な移動も見られる。

生息地の条件

流れが穏やかで、砂泥底の水路に生息する。潟につながる水路では、かなり奥部にまで侵入してくる。

生存の危機

水路のコンクリート化や落差工の設置。(A)

特記事項

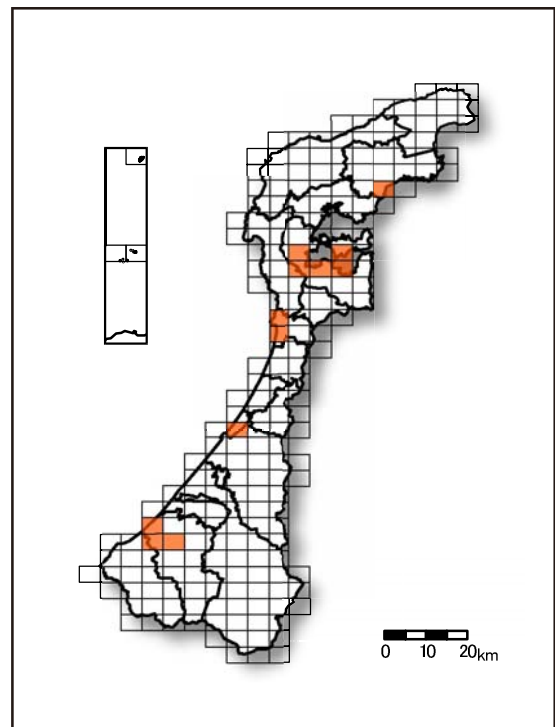
本種が最初に記載された穴道湖産のもの、それ以外の場所で確認されているものとは、系統的に距離があることが調べられている。

参考文献

Stevenson, D.E. 2002. Systematics and distribution of the Asian goby genera *Caenogobius* and *Gymnogobius* (Osteichthys: Perciformes: Gobiidae), with the description of a new species. *Species Diversity*, 7: 251-312.



写真提供者: 山本邦彦



県内の分布

ジュズカケハゼ

スズキ目ハゼ科

Gymnogobius castaneus (O'Shaughnessy)

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

選定理由

一部の地域を除き、溜池やそれに通じる狭い範囲の水路など、これまでに確認されている生息場所が孤立した状況にある。

形態

体型などはシンジコハゼやビリンゴと区別が付き難いが、頭部に感覚管や感覚管開孔がまったく見られない。

国内分布

北海道から福井県、長野県、東京都。

県内分布

七尾市、中能登町、宝達志水町、かほく市、津幡町、金沢市、能美市、小松市、加賀市。

生態

幼魚の時期は溜池の岸部で浮遊生活をしているが、成長とともに底生生活へと移行する。

生息地の条件

溜池における生息地では、オオクチバスの放流が行われていない。

生存の危機

溜池の改修などによる、生息地の攪乱。(A, C)

特記事項

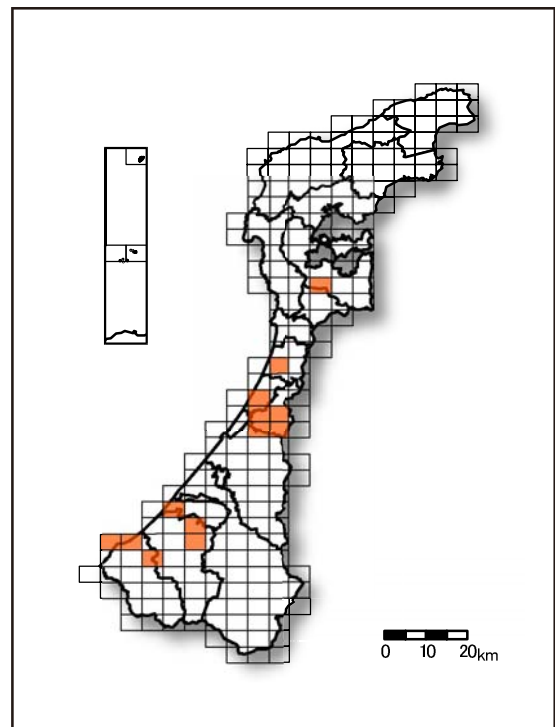
現在確認されている生息地の中には、連続性が見られない場所もあることから、一部のものは移入された可能性がある。

参考文献

Stevenson, D.E. 2002. Systematics and distribution of the Asian goby genera *Caenogobius* and *Gymnogobius* (Osteichthys: Perciformes: Gobiidae), with the description of a new species. *Species Diversity*, 7: 251-312.



写真提供者: 山本邦彦



県内の分布

イワナ（無斑タイプ）

サケ目イワナ科

石川県カテゴリー

地域個体群

国カテゴリー

なし

Salvelinus leucomaenis pluvius (Hilgendorf)

選定理由

無斑イワナはイワナの一地方変異と考えられている。しかしこれまで県内のごく限られた水域でのみ確認されていることから、今後も遺伝子の攪乱に注意を払う必要がある。

形態

体表上に白色や赤色の斑紋がまったく無いか、あってもわずかである。

国内分布

山形県、石川県。

県内分布

白山市。

生態

手取川水系の最上流部、標高1100m付近の狭い範囲にのみ生息が確認されている。

生息地の条件

夏季でも水温が低く、瀬と淵が連続する変化に富んだ緩流部が存在すること。

生存の危機

落差工による移動の妨げ。移植放流個体との交雑。密漁。(A, C)

特記事項

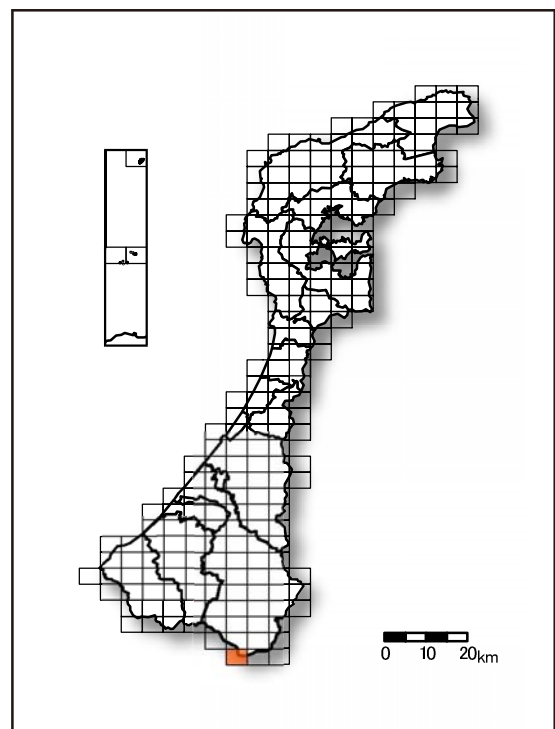
無斑イワナの生息場所は、通年にわたって禁漁区に設定されている。白山市指定の天然記念物。

参考文献

丸山隆・斉藤裕也 1987. 日本のイワナ手取川のイワナ. はくさん. 14:4-7.
吉安克彦 1996. 岩魚草紙. 朔風社. 東京.



写真提供者: 山本邦彦



県内の分布